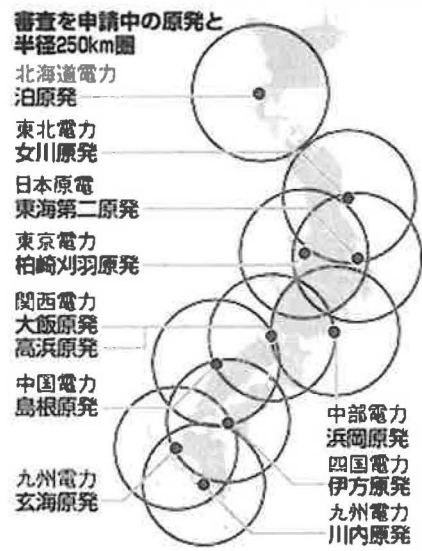


「なぜ日本は 原発を止められないのか？」

青木美希 20250316

札幌市生まれ。新聞社3社で23年間記者を務めた。『北海道警察裏金問題』取材班で菊池寛賞、新聞協会賞を受け、『プロメテウスの罠』『手抜き除染』の取材班でそれぞれ新聞協会賞を受けた。日本ペンクラブ言論表現副委員長。近著『なぜ日本は原発を止(や)められないのか？』(文春新書)は 2025 年2月に6刷となり、脱原発文学大賞、貧困ジャーナリズム賞を受賞した。



原木しいたけ(露地栽培のもの)について、実際に開かれた市町は出荷が制限されています。

現状

- いまも福島第一原発から300km離れた富士山でも野生キノコからセシウム検出、出荷制限中。岩手県内も出荷制限中のものが。

- 福島第一原発事故の最悪シナリオではウラン燃料2炉心分が溶けた場合で250km圏内が任意避難区域だった(右上の図は2014年5月22日朝日新聞)。



原木しいたけ(露地栽培のもの)

- 盛岡駅から女川原発は148km

- マグニチュード6以上の地震の2割が日本近郊。

- 政府はエネルギー基本計画で「原発依存度低減」

「再エネに最優先に取り組む」を削除し、原発新設に取り組むとした。

- 日本政府は原子力緊急事態宣言を発令中で、東日本大震災の避難者はいまも数万人。住宅提供打ち切りで生活は厳しく。帰還困難区域も打ち切り。医療費打ち切りも

なぜ日本は原発を止められないのか

- なぜ日本は原発をやめられないのか。推進する人たちで作る「原子カムラ」。政官業学メディア。既得権益を守る。

原発推進の政治家は電力会社にパーティー券を買ってもらっている。リストの存在。電力会社役員が個人献金。

- 「核兵器と原発」 原子力専門家「核には核で、が常識」



●「また第二第三の事故が起こる国になっていると感じる。この国は 3・11 をまたやろうとしている。それは自覚しましょう。沈黙することで現状はちっともよくなりません。沈黙することが現状を追認することであり、格差が格差を加速する結果を生みます。そこを転換するには発言する」（保坂展人・世田谷区長）。

●高い原発、私たちの電力料金で新設も、捨てられる再エネ

原発の新増設、コストがあがって米国では小型原発 6 基が撤退。日本は「電気代をあげて回収するから大丈夫です。心配していません」（電力会社社員）。日経、朝日も新設コストは電気代で回収する方針と報道した。福島第一原発事故を受けて原発建設費は数倍に

・ドイツは原発ゼロ達成。日本は連系線が貧弱で、九州で電力が余っても本州に送れない。2023 年 4～9 月には北海道電力と東京電力を除く 8 社が 194 回の出力制御を行い、最大で 1 回当たり原発 3 基分に相当する約 287 万キロワットを抑制した（2023 年 10 月 16 日「共同通信」）。再エネが無駄に。7 兆円あれば連系線を整備でき（エネルギー資料）、将来的に電気代を安くできるのに、政府は電気、ガス会社に 4 兆円を補助。「再エネにまわせたはずの政府の財政支出が電気、ガス代に累計 4 兆円投じられることになる」（2024 年 7 月 31 日日経）。

・乏しい再エネ促進策。蓄電池補助政策は米国は実施、EU は太陽光パネル廃棄を 2012 年に義務化。日本は遅い…

●原発新設は国民負担増。なのにあまり知られていない。

ネットにあふれる「原発で電気料金が安くなる」という言説。ユーチューバーも。

●福島第一原発デブリの取り出し費用 1 兆円（原子力資料情報室）の負担はこれから。

●各原発の核燃料は無害化まで 10 万年。処理費用もこれから

どれだけ国民負担が増えるか。

利益を得るのは誰なのでしょう。

未来に長く負担をするのは、誰なのでしょう。

青木美希 aokimiki0311@gmail.com 『なぜ日本は原発を止められないのか？』脱原発文学賞受賞。『地図から消される街』（講談社）は日本医学ジャーナリスト協会賞特別賞など 3 賞、『いないことにされる私たち』（朝日新聞出版）は全国学校図書館協議会選定図書

YouTube「あおタイムス」で動画配信中。チャンネル登録をお願いします。 鶴沼さんの映像や福島第一原発の現地取材映像も。

あおタイムスは検索のほか、この QR コードでも

